

井筒屋グループ 中期3ヵ年経営計画(2025年度～2027年度)について

当社グループでは、「井筒屋グループ 中期3ヵ年経営計画(2025年度～2027年度)」を策定いたしました。本計画につきましては、創業100周年を迎える2035年に目指す姿を定め、当社の資産価値向上を図ることにより、安定的な収益を確保する体制構築に努めてまいります。

記

1. 当社グループのビジョン

グループビジョン：「地域小売業のリーディングカンパニーとして発展していく」

2035年(創業100周年)に目指す姿：「地域唯一の百貨店として、地域経済・社会の発展に貢献する」

グループビジョンを反映した“2035年に目指す姿”を設定し、本中計の3年間では、井筒屋が90年をかけて築いてきた資産である「店舗、顧客基盤、井筒屋ブランド、人的資本」の価値向上を図ってまいります。

【取組指針】

- ・ 百貨店らしさの追求により、地域唯一の百貨店として存続・発展し続ける
- ・ 地域の賑わいの中心として、幅広い層のお客様が訪れ、地域商圈の活性化を牽引する
- ・ ライフステージ・スタイルにおける様々なニーズに応え、地域の方々の生活の質向上に貢献する
- ・ 地域の魅力溢れる商品の発掘・改良・新規開発に取り組み、地域の稼ぐ力の拡大に寄与する

2. 戦略の方向性

● 百貨店らしさの追求

店舗におけるMD、プロモーション、外商施策を強化し、店舗価値向上と顧客基盤の拡大を図ってまいります。

● デジタルを基軸とした営業施策の強化

アプリをはじめとしたデジタル活用により、新たな顧客接点の創造や次世代顧客獲得に努めてまいります。

● 収益基盤の多様化

グループ企業の事業強化や新規事業検討を行い、将来的に安定した収益を確保する体制を構築してまいります。

● 経営基盤の強化

生産性の向上や、財務・資本戦略、サステナビリティ経営等を推進してまいります。

3. 最終年度(2027年度)の数値目標 ※収益認識会計基準適用後

連結業績	実績	目標値	対比
	(2024年度) ※前中計最終年度	(2027年度) ※本中計最終年度	
売上高	221億円	227億円	6億円
営業利益	10億円	11億円	1億円
営業利益率	4.7%	5.0%	0.3%
経常利益	7億円	9億円	2億円
経常利益率	3.3%	3.9%	0.6%

以上